

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第41週 (ARIのみ第40週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (41 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。
 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：E 型肝炎 1 例。
 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例、梅毒 1 例、百日咳 7 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	肺結核	咳、その他
			60歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			90歳代	女	結核性胸膜炎	発熱、呼吸困難
			90歳代	女	粟粒結核	なし
		日南	100歳代	男	肺結核及び粟粒結核	咳、痰、その他
4類	E型肝炎	日南	60歳代	男	—	その他
5類	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感染症	延岡	90歳代	女	—	尿路感染症、肺炎
	侵襲性インフルエンザ菌 感染症	日向	90歳代	女	—	肺炎、その他
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	百日咳	宮崎市	5～9歳	男	—	持続する咳
			40歳代	女	—	持続する咳
			40歳代	女	—	持続する咳
		延岡	5～9歳	男	—	持続する咳
		日南	10歳代	女	—	持続する咳
		小林	5～9歳	男	—	持続する咳
		高鍋	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、嘔吐

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・第 41 週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は 501 人(定点当たり 27.5)で、前週比 89%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RS ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び伝染性紅斑であった。また、第 40 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,368 人(定点当たり 48.9)で、前週比 110%と増加した。

【インフルエンザ】

報告数は 90 人(3.2)で、前週比 111%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.2) の約 14.7 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

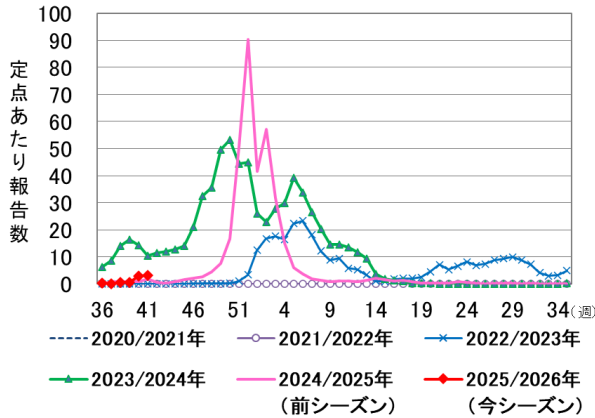
報告数は 149 人(5.3)で、前週比 72%と減少した。年齢群別は 20 歳未満が全体の約半数、60 歳以上が全体の約 2 割を占めた。

【伝染性紅斑】

報告数は 62 人(4.1)で、前週比 79%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.5) の約 8.4 倍であった。年齢群別は 3 歳から 6 歳が全体の約 7 割を占めた。

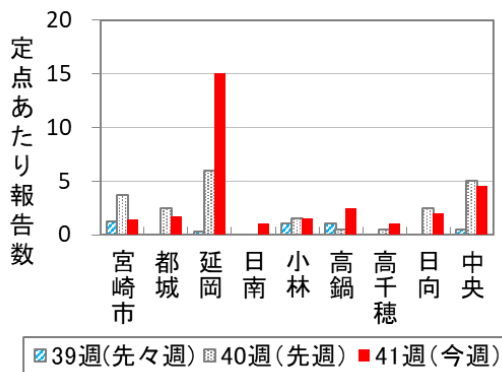
* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

インフルエンザ 発生状況

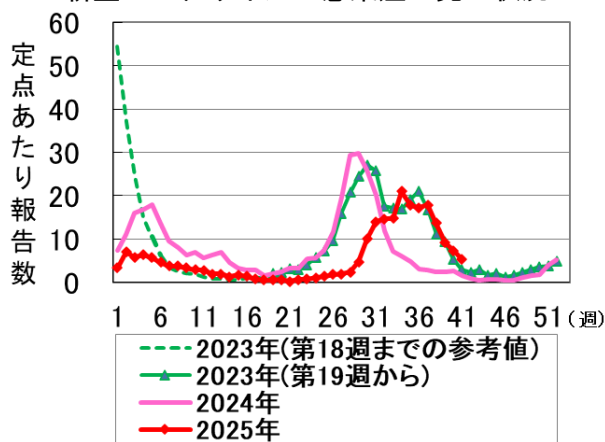


※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更

インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



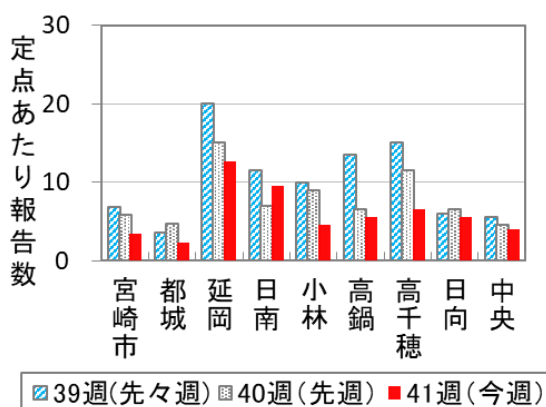
新型コロナウイルス感染症 発生状況



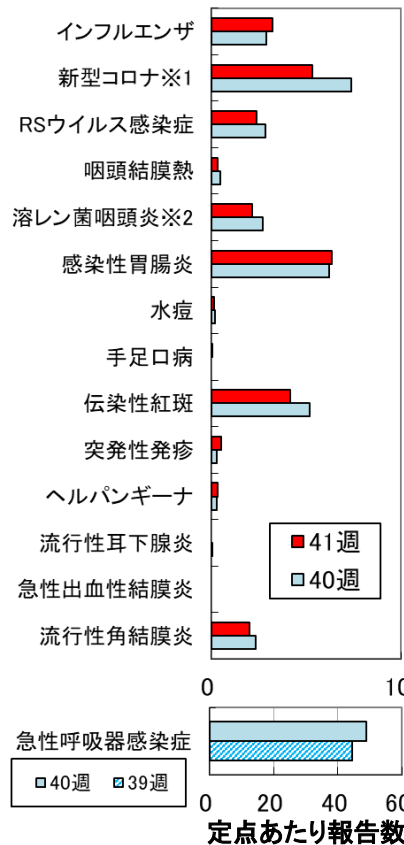
※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更

※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



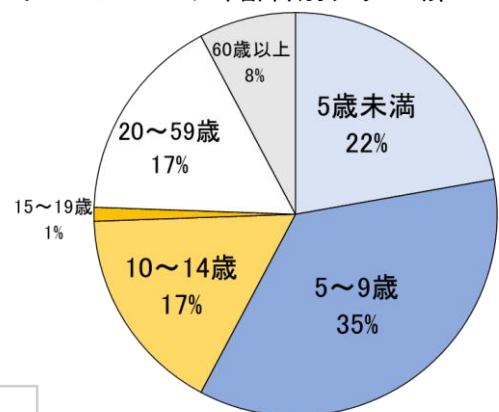
《前週との比較》



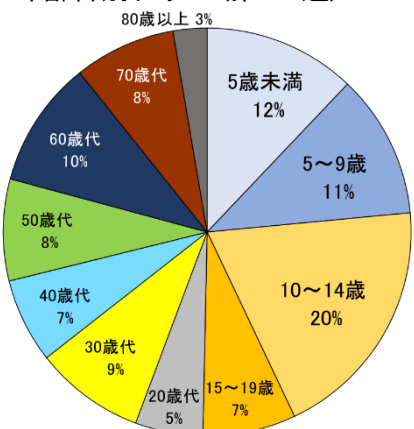
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

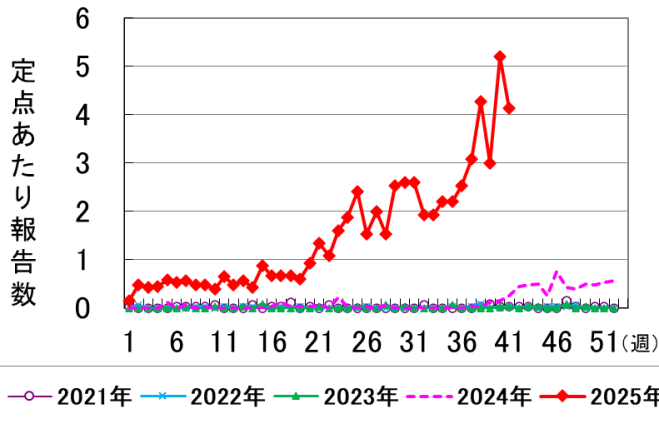
インフルエンザ年齢群別グラフ(第41週)



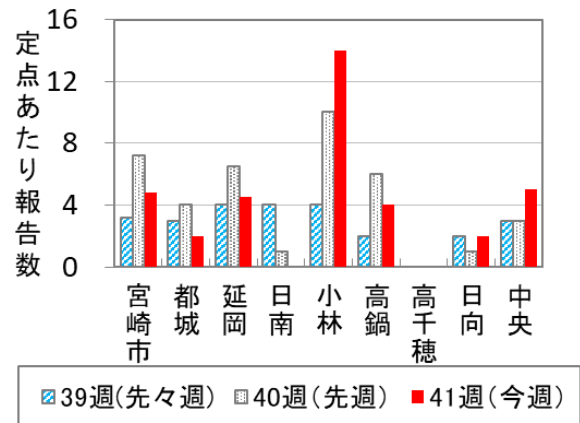
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第41週)



伝染性紅斑 発生状況



伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は4例(定点当たり0.6)で、高鍋(2例)、宮崎市(1例)、日南(1例)保健所から報告があった。年齢は0～4歳が2例、5～9歳が1例、10～14歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(4.8)
都城	伝染性紅斑(2.0)
延岡	インフルエンザ(15.0)、伝染性紅斑(4.5)
日南	なし
小林	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)、伝染性紅斑(14.0)
高鍋	伝染性紅斑(4.0)
高千穂	なし
日向	伝染性紅斑(2.0)
中央	伝染性紅斑(5.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2025年第40週:9月29日～10月5日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1 pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			5
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		1
	2型		1
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			7
受付検体数			15

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2025 年 10 月 13 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC (O157:HNM VT1,2)	0～4歳	女	2025.08.29	下痢、血便	便	2025.08.30
<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	5～9歳	男	2025.09.02	発熱、頭痛、腹痛、下痢、血便	便	2025.09.10
EHEC (O103:H2 VT1)	30歳代	男	2025.09.24	なし	便	2025.10.03
<i>Salmonella</i> Bareilly (O7:y:1,5)	50歳代	男	2025.09.25	発熱、腹痛、下痢	便	2025.10.02
<i>Salmonella</i> Agona (O4:f,g,s:-)	10歳代	男	2025.09.25	発熱、嘔気・嘔吐、腹痛、下痢	便	2025.10.02

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Coxsackievirus A4 ^{※1}	0～4歳	男	2025.07.28	ヘルパンギーナ、39.0℃、上気道炎、口内炎、水疱(口腔内)	鼻汁	2025.09.30
Adeno virus 2 ^{※2}						
Adeno virus 41 ^{※2}	5～9歳	女	2025.07.28	咽頭炎、胃腸炎、38.6℃、下痢、嘔吐、嘔気	鼻汁	2025.09.30
Respiratory syncytial virus (RSV) A	0～4歳	男	2025.08.12	エンテロウイルス疑い、発疹、下痢	鼻腔ぬぐい液	2025.09.30

※1 ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

※2 ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、遺伝子解析により型別されたウイルスも再掲

🇯🇵 全国 2025 年第 40 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	228 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	116 例	腸チフス	1 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	4 例	エムボックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	4 例	デング熱	5 例	日本紅斑熱	27 例
	レジオネラ症	56 例	レプトスピラ症	5 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	11 例
	急性脳炎	2 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	24 例	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	21 例	水痘(入院例)	8 例
	梅毒	186 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	1193 例	麻しん	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数(急性呼吸器感染症除く)は前週比 101%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 108%と増加した。

インフルエンザの報告数は 6,013 人(1.6)で前週比 150%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.3)の約 5.1 倍であった。沖縄県(12.2)、東京都(3.3)、宮崎県(2.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 2,898 人(1.2)で前週比 101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.3)の約 4.1 倍であった。佐賀県(5.3)、宮崎県(5.2)、愛媛県(4.6)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2025 年 9 月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人(2.6)で、前月比77%と減少した。また、昨年9月(4.2)の約0.6倍であった。

《疾患別》

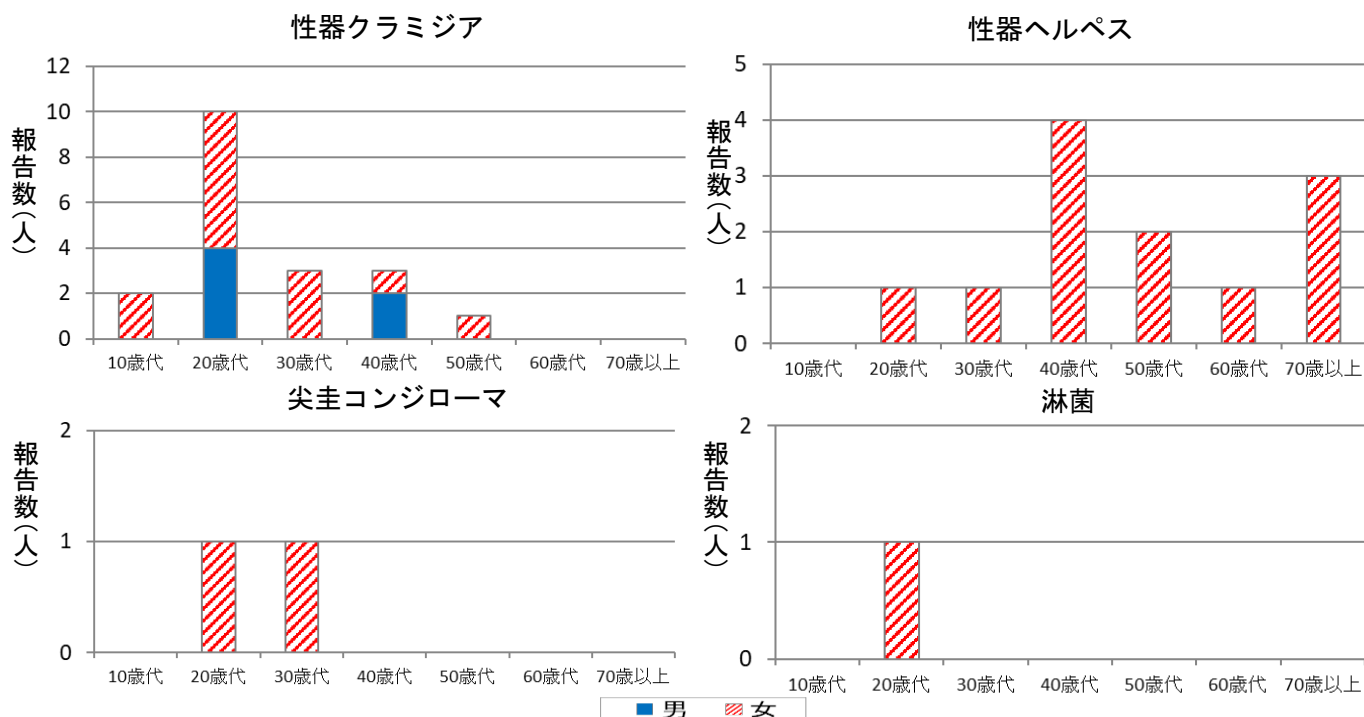
○性器クラミジア感染症：報告数19人(1.5)で、前月の約0.7倍、昨年9月の約0.5倍であった。

20歳代が全体の約半数を占めた。(男性6人・女性13人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数12人(0.92)で、前月及び昨年9月の約1.1倍であった。
(女性12人)

○尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の約0.7倍、昨年9月と同率であった。(女性2人)

○淋菌感染症：報告数1人(0.08)で、前月の約0.3倍、昨年9月の約0.1倍であった。(女性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,993人(5.1)で、前月比110%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,691人(2.7)で前月比111%、性器ヘルペスウイルス感染症954人(0.97)で前月比112%、尖圭コンジローマ532人(0.54)で前月比100%、淋菌感染症816人(0.83)で前月比109%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で、前月比175%と増加した。また、昨年9月(4.7)の約0.6倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人(3.0)で、前月の約1.8倍、昨年9月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,285人(2.7)で、前月比99%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,261人(2.6)で前月比100%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症19人(0.04)で前月比80%、薬剤耐性緑膿菌感染症5人(0.01)で前月比100%であった。

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	81	90	13	7	45	2	3	5	2	4	9
	定点当り	2.89	3.21	1.44	1.75	15.00	1.00	1.50	2.50	1.00	2.00	4.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	207	149	31	9	38	19	9	11	13	11	8
	定点当り	7.39	5.32	3.44	2.25	12.67	9.50	4.50	5.50	6.50	5.50	4.00
RSウイルス感染症	報告数	43	36	18	2	4	2	2	2		5	1
	定点当り	2.87	2.40	3.60	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	0.00	5.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	7	5	2					1		1	1
	定点当り	0.47	0.33	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	41	32	9	3	4	1	8	7			
	定点当り	2.73	2.13	1.80	1.50	2.00	1.00	8.00	7.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	93	95	12	7	16	8	19	13	1	18	1
	定点当り	6.20	6.33	2.40	3.50	8.00	8.00	19.00	13.00	1.00	18.00	1.00
水痘	報告数	3	2	2								
	定点当り	0.20	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数		1							1		
	定点当り	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	78	62	24	4	9		14	4		2	5
	定点当り	5.20	4.13	4.80	2.00	4.50	0.00	14.00	4.00	0.00	2.00	5.00
突発性発しん	報告数	4	8	3	2	1			1			1
	定点当り	0.27	0.53	0.60	1.00	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	5			2		1			2	
	定点当り	0.27	0.33	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	2.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	12	10	1	1						
	定点当り	2.33	2.00	3.33	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		4	1			1		2			
	定点当り	0.00	0.57	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	2.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第40週(09月29日～10月05日)

		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1247	1368	363	125	196	113	93	94	92	143	149
	定点当り	44.54	48.86	40.33	31.25	65.33	56.50	46.50	47.00	46.00	71.50	74.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～41週 保健所受理分)

2類感染症	結核	107例(5)				
	腸管出血性大腸菌感染症	26例				
4類感染症	E型肝炎	3例(1)	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	5例
	つつが虫病	8例	デング熱	2例	日本紅斑熱	23例
	レジオネラ症	6例				
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2例(1)
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	19例	水痘(入院例)	3例
	梅毒	104例(1)	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	3例
	百日咳	1,374例(7)				

()内は今週届出分、再掲